

2025 年 10 月 07 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【日経平均株価の新高値更新】

本日（2025 年 10 月 7 日）の東京株式市場では、日経平均株価の上昇が前日比 500 円を超えて、一時 4 万 8500 円台まで上昇した。

取引時間中の最高値を更新した。

基本的に、株価の上昇は良いこと、と考えます。

もちろん、この日経平均株価の上昇は、10 月 4 日の自民党総裁選で高市早苗氏が新総裁に選出されたことが材料だ。

自民党総裁選で高市早苗氏が勝利を収めたことを受けて、外国為替市場では円安となり、株式市場では株価が急騰した。

巷間ではこの動きを「高市トレード」と呼び、注目を集めている様子だ。

このいわゆる「高市トレード」の思惑を深掘りしてみよう。

高市政権が発足するならば、日銀の利上げが先延ばしされる可能性がある、と市場参加者は考えている。

現在の日銀の金融政策の方向性は、円金利の引き上げ（＝利上げ）である。

株価の上昇が示す通りに、インフレ傾向なのだから、日銀がインフレ対策として、利上げを行うのは当然のことだ。

しかし、景気を下支えするために、政府から日銀に利上げの先送りを依頼する可能性は否定できない。

日銀の利上げは、国債利払いにおいて、財政負担の増大に直結するから、日銀としても、利上げの先送りを受け入れやすい部分はある、と考えます。

円金利の引き上げ（＝利上げ）が先送りされるならば、外国為替市場では「円売り」の材料となるのは自明の理。

そして、日銀の利上げが先送りされて、外国為替市場で円安が進行することが材料となり、日本の株式市場で株価が上昇する流れとなった。

今のところは、日経平均株価の新高値更新など、耳障りの良いニュースが際立っている。

しかし、高市氏の政策が、今後どこまで実行されるのか、不透明であること。

そして、円安、株価上昇が進めば、長期金利が一段と上昇する懸念もあり得る、と考えます。

当然のことながら、インフレが進行するのだから、良いことばかりではない、と考えます。

++++
++++

(2025 年 10 月 07 日東京時間 14 : 50 記述)